

世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年1回決算型)

運用報告書 (全体版) 第4期

(決算日 2024年4月25日)
(作成対象期間 2023年4月26日~2024年4月25日)

■信託期間終了日を2024年4月25日から2050年4月25日に変更しました。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を除く世界の金融商品取引所上場株式等に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先 (コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	2020年7月31日~2050年4月25日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ. アンカーMFGグローバル株式ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)の受益証券 ロ. ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			MSCIコクサイ指数 (税引後配当込み、米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
1期末(2021年4月26日)	円 11,115	円 100	% 12.2	12,969	% 29.7	% -	% 98.8	百万円 208
2期末(2022年4月25日)	10,001	0	△10.0	12,997	0.2	-	98.0	183
3期末(2023年4月25日)	9,633	0	△ 3.7	12,935	△ 0.5	-	99.1	152
4期末(2024年4月25日)	10,617	100	11.3	15,448	19.4	0.0	99.9	103

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCIコクサイ指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、MSCI Inc.（「MSCI」）の承諾を得て、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIコクサイ指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

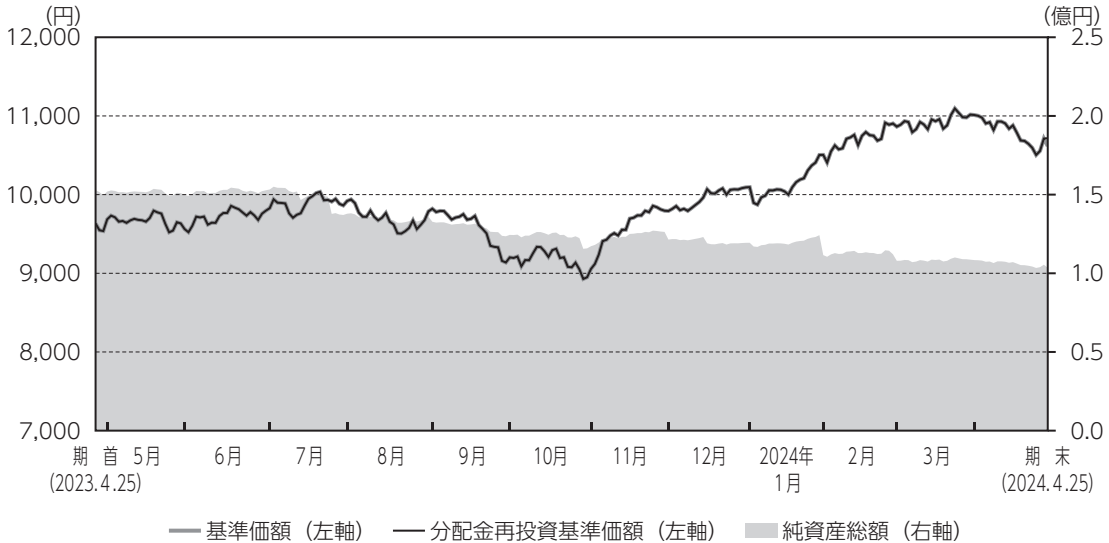
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：9,633円

期末：10,617円（分配金100円）

騰落率：11.3%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

海外先進国株式市況が上昇したことがプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり／年1回決算型）

年 月 日	基 準 価 額		M S C I コ ク サ イ 指 数 (税引後配当込み、米ドルベース)		公 社 債 組 入 比	投 資 信 託 受 組 証 率
	騰 落 率	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2023年 4月25日	円 9,633	% -	12,935	% -	% -	% 99.1
4 月末	9,686	0.6	12,884	△ 0.4	-	98.9
5 月末	9,562	△ 0.7	12,945	0.1	-	99.2
6 月末	9,828	2.0	13,464	4.1	-	99.0
7 月末	9,919	3.0	14,058	8.7	-	98.9
8 月末	9,820	1.9	13,785	6.6	-	101.7
9 月末	9,202	△ 4.5	13,145	1.6	-	99.1
10月末	9,056	△ 6.0	12,710	△ 1.7	-	98.9
11月末	9,792	1.7	13,927	7.7	-	103.4
12月末	10,095	4.8	14,711	13.7	-	99.1
2024年 1 月末	10,505	9.1	14,986	15.9	-	110.5
2 月末	10,864	12.8	15,385	18.9	-	102.4
3 月末	11,012	14.3	15,949	23.3	0.0	99.2
(期末) 2024年 4月25日	10,717	11.3	15,448	19.4	0.0	99.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2023.4.26～2024.4.25)

■海外先進国株式市況

海外先進国株式市況は上昇しました（米ドルベース）。

海外先進国株式市況は、当作成期首より、米国の地方銀行の経営不安や債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方で、予想を上回る米国企業決算の発表が好感され、底堅い展開となりました。2023年5月下旬からは、AI（人工知能）関連の半導体企業の強気見通しや米国債務上限問題の解決、インフレ率の鈍化などが好感され、上昇しました。8月以降は、米国国債の増発やFRB（米国連邦準備制度理事会）の政策金利見通しの引き上げ、政府機関の閉鎖懸念などによる長期金利の大幅な上昇、景気の先行き不透明感や企業業績の伸びの鈍化、パレスチナ情勢の悪化などが嫌気され、10月末にかけて下落しました。11月以降は、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことや、FRB議長が将来の利下げについての議論を始めたことを受けて利下げ観測が高まったことなどが好感され、上昇しました。2024年1月以降も、欧米でインフレ率の鈍化傾向が継続したことやAI関連の半導体関連企業が良好な決算を発表したことなどが好感され、上昇基調が続きました。しかし、米国の利下げ開始の後ずれ観測や半導体関連企業の予想を下回る決算発表などを受け、4月は上値を抑えられ、やや反落して当作成期末を迎えました。

■前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「MF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）」と「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」に投資します。通常の状態では、「MF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※MF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）：アンカーMF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

■MF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）

社会に変革をもたらすような中長期の投資テーマを発掘すると同時に、市場の大幅な下落につながる可能性のあるイベント・リスクを把握する「トップダウン分析」と、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる高クオリティ企業を厳選する「ボトムアップ分析」とを効果的に融合し、ポートフォリオを構築します。

なお、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。ただし、為替ヘッジの手段がない、あるいはヘッジコストが過大と判断される際には、一部の通貨について為替ヘッジを行わない方針です。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2023.4.26～2024.4.25)

■当ファンド

当ファンドは、「MF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）」と「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」を投資対象ファンドとするファンド・オブ・ファンズです。当作成期の運用にあたっては、「MF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）」の投資比率を高位に維持しました。

■MF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）

ポートフォリオ全体でのリスク管理を徹底しつつ、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。保有する銘柄の多くは、企業の生産性向上支援やキャッシュレス社会への移行など社会のデジタル化の進展、生活に必要な商品やサービスの提供における価格決定力、あるいは各国政府が推進する脱炭素化への取り組みなどを背景としたインフラ投資の拡大というメガトレンドからの恩恵を受けた収益拡大が期待できる企業群であると考えています。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

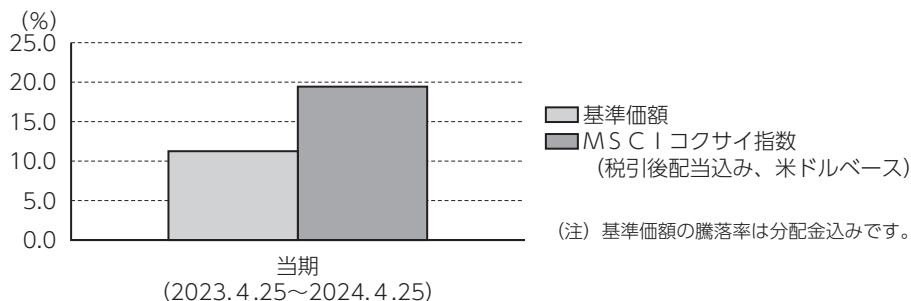
■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数は海外先進国株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項目	当期	
	2023年4月26日 ～2024年4月25日	
当期分配金（税込み）	（円）	100
対基準価額比率	（％）	0.93
当期の収益	（円）	-
当期の収益以外	（円）	100
翌期繰越分配対象額	（円）	972

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注4）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	当	期
(a) 経費控除後の配当等収益		0.00円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		213.40
(d) 分配準備積立金	✓	858.87
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)		1,072.27
(f) 分配金		100.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)		972.27

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「MF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）」と「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」に投資します。通常の状態では、「MF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■MF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）

社会に変革をもたらすような中長期の投資テーマを発掘すると同時に、市場の大幅な下落につながる可能性のあるイベント・リスクを把握する「トップダウン分析」と、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる高クオリティ企業を厳選する「ボトムアップ分析」とを効果的に融合し、ポートフォリオを構築します。

なお、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。ただし、為替ヘッジの手段がない、あるいはヘッジコストが過大と判断される際には、一部の通貨について為替ヘッジを行わない方針です。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2023.4.26~2024.4.25)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	112円	1.127%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,970円です。
（投 信 会 社）	(33)	(0.330)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(77)	(0.770)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(3)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.008	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	113	1.135	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

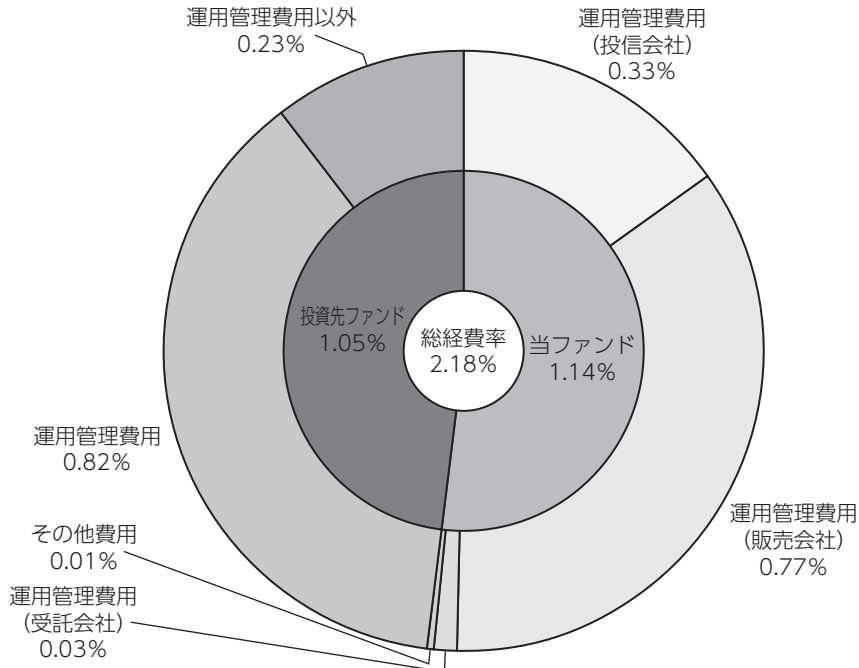
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.18%です。



総経費率 (①+②+③)	2.18%
①当ファンドの費用の比率	1.14%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.82%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.23%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2023年4月26日から2024年4月25日まで)

		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
国内	アンカーMF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）	千口 -	千円 -	千口 59,384,715	千円 62,700

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファン ド 名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券 アンカーMF Gグローバル株式ファンド (為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)	千口 91,092.808	千円 103,399	% 99.9

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首			当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率	□ 数	評 価 額	比 率
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	千口 0	千円 0	% 0	千口 0	千円 0	% 0

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年4月25日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 103,399	% 97.4
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	0	0.0
コール・ローン等、その他	2,738	2.6
投資信託財産総額	106,138	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年4月25日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	106,138,998円
コール・ローン等	2,738,553
投資信託受益証券(評価額)	103,399,446
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド(評価額)	999
(B) 負債	2,636,752
未払収益分配金	974,887
未払解約金	1,006,089
未払信託報酬	651,105
その他未払費用	4,671
(C) 純資産総額(A - B)	103,502,246
元本	97,488,705
次期繰越損益金	6,013,541
(D) 受益権総口数	97,488,705口
1万口当り基準価額(C / D)	10,617円

*期首における元本額は158,757,903円、当作成期間中における追加設定元本額は40,321円、同解約元本額は61,309,519円です。
*当期末の計算口数当りの純資産額は10,617円です。

■損益の状況

当期 自2023年4月26日 至2024年4月25日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 168円
受取利息	226
支払利息	△ 394
(B) 有価証券売買損益	12,022,103
売買益	15,192,701
売買損	△ 3,170,598
(C) 信託報酬等	△ 1,456,206
(D) 当期損益金(A + B + C)	10,565,729
(E) 前期繰越損益金	△ 5,657,711
(F) 追加信託差損益金	2,080,410
(配当等相当額)	(233,656)
(売買損益相当額)	(1,846,754)
(G) 合計(D + E + F)	6,988,428
(H) 収益分配金	△ 974,887
次期繰越損益金(G + H)	6,013,541
追加信託差損益金	2,080,410
(配当等相当額)	(233,656)
(売買損益相当額)	(1,846,754)
分配準備積立金	7,398,183
繰越損益金	△ 3,465,052

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	2,080,410
(d) 分配準備積立金	8,373,070
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	10,453,480
(f) 分配金	974,887
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	9,478,593
(h) 受益権総口数	97,488,705口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)

100円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■信託期間の延長について

信託期間終了日を2024年4月25日から2050年4月25日に変更しました。

<補足情報>

当ファンド（世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり／年1回決算型））が投資対象としている「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の決算日（2023年12月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2024年4月25日）現在におけるダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2023年4月26日から2024年4月25日まで)

買		付		売		付	
銘	柄	金	額	銘	柄	金	額
1219国庫短期証券	2024/6/24		千円 32,999,307				千円

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2024年4月25日現在におけるダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（58,519,378千円）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

2024年4月25日現在								
区 分	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率			
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満	
国債証券	千円 33,000,000	千円 32,999,575	% 56.3	% -	% -	% -	% -	% 56.3

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2024年4月25日現在						
区 分	銘	柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	1219国庫短期証券		% -	千円 33,000,000	千円 32,999,575	2024/06/24

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

運用報告書 第15期 (決算日 2023年12月11日)

(作成対象期間 2022年12月10日～2023年12月11日)

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

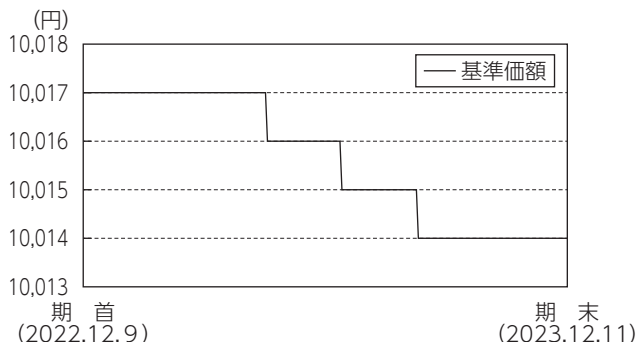
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2022年12月9日	円	%	%
12月末	10,017	0.0	-
2023年1月末	10,017	0.0	-
2月末	10,017	0.0	-
3月末	10,017	0.0	-
4月末	10,016	△0.0	-
5月末	10,016	△0.0	-
6月末	10,015	△0.0	-
7月末	10,015	△0.0	-
8月末	10,014	△0.0	-
9月末	10,014	△0.0	-
10月末	10,014	△0.0	-
11月末	10,014	△0.0	-
(期末)2023年12月11日	10,014	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,017円 期末：10,014円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆ 投資環境について

○ 国内短期金融市場

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
 (注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■ 主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■ 組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■ 投資信託財産の構成

2023年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 62,664,638	% 100.0
投資信託財産総額	62,664,638	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	62,664,638,644円
コール・ローン等	62,664,638,644
(B) 負債	-
(C) 純資産総額(A - B)	62,664,638,644
元本	62,579,567,123
次期繰越損益金	85,071,521
(D) 受益権総口数	62,579,567,123口
1万口当り基準価額(C / D)	10,014円

* 期首における元本額は44,855,160,815円、当作成期間中における追加設定元本額は94,438,728,484円、同解約元本額は76,714,322,176円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ダイワ米ドル・ブルファンド (適格機関投資家専用)	394,341,311円
ダイワ米ドル・ベアファンド (適格機関投資家専用)	7,178,107,283円
ダイワ・マネーポートフォリオ (FOF s用) (適格機関投資家専用)	1,089,639円
ダイワJリートベア・ファンド (適格機関投資家専用)	905,310,638円
米国債プラス日本株式ファンド2021-01 (部分為替ヘッジあり/適格機関投資家専用)	1,518,511円
米国債プラス日本株式ファンド2021-07 (部分為替ヘッジあり/適格機関投資家専用)	1,993,906円
ダイワ/バリュー・パートナーズ チャイナ・ヘルスケア・フォーカス	9,976円
通貨選択型 米国リート・αクワトロ (毎月分配型)	159,141円
通貨選択型アメリカン・エグジティ・αクワトロ (毎月分配型)	159,141円
オール・マーケット・インカム戦略 (資産成長重視コース)	9,963円
オール・マーケット・インカム戦略 (奇数月定額分配コース)	9,963円
オール・マーケット・インカム戦略 (奇数月定率分配コース)	9,963円
オール・マーケット・インカム戦略 (予想分配金提示型コース)	9,963円
NYダウ・トリプル・レバレッジ	930,471,926円
世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年1回決算型)	998円
世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年2回決算型)	998円
ポーレン米国グロース株式ファンド (資産成長型)	998円
ポーレン米国グロース株式ファンド (予想分配金提示型)	998円
トレンド・キャッチ戦略ファンド	9,977円
AHLターゲットリスク・ライト戦略ファンド (適格機関投資家専用)	7,916,611,556円
ダイワJGBベア・ファンド2 (適格機関投資家専用)	45,246,139,138円
ダイワ/ロジャーズ国際コモディティTM・ファンド	2,417,017円
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型)	998円
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	998円
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型) アジア通貨・コース (毎月分配型)	998円
ダイワ豪ドル建て高利回り証券α (毎月分配型)	9,949円
ダイワ米国債7-10年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - USトラリアングル	997,374円
ダイワ豪ドル建て高利回り証券ファンド - 予想分配金提示型	173,802円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,014円です。

■損益の状況

当期 自2022年12月10日 至2023年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 25,212,071円
受取利息	17,750
支払利息	△ 25,229,821
(B) その他費用	△ 16,282
(C) 当期損益金(A + B)	△ 25,228,353
(D) 前期繰越損益金	78,288,990
(E) 解約差損益金	△121,056,632
(F) 追加信託差損益金	153,067,516
(G) 合計(C + D + E + F)	85,071,521
次期繰越損益金(G)	85,071,521

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限
運用方針	アンカーMFGグローバル株式マザーファンドの受益証券への投資を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、為替変動リスクを低減するために、為替ヘッジを行います。ただし、為替ヘッジの手段がない、あるいは、ヘッジコストが過大と判断される際には、一部の通貨について、為替ヘッジを行わない場合があります。
主要運用対象	アンカーMFGグローバル株式マザーファンド(為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用) アンカーMFGグローバル株式マザーファンド アンカーMFGグローバル株式マザーファンド受益証券 海外の金融商品取引所に上場している企業の株式等※ ※リート（不動産投資信託証券）やDR（預託証券）、その他の証券を含みます。
マザーファンドの運用方法	1. 徹底したリサーチを通じて選別した持続的な優位性を持つ高クオリティ企業の株式等の中長期に投資することで、一つの経済サイクルを通して年率10%以上のリターン獲得を目指します。 2. ポートフォリオの市場感応度を一定程度以下に調節することで値下りリスクの抑制に努めます。 3. ポートフォリオの構築にあたっては、確信度の高い銘柄に対する集中投資を行います。投資銘柄数は、原則として20銘柄以上、40銘柄以下とします。 4. 投資対象とする株式等は、取得時において、原則として時価総額250億米ドル以上の銘柄とします。ただし、原則として原油や天然資源などの商品市況に影響される銘柄は除きます。 5. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 6. 資金動向、市場動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。 7. マゼラン・アセット・マネジメント・リミテッドに外貨建資産の運用の指図に関する権限を委託します。
組入制限	1. アンカーMFGグローバル株式マザーファンド（以下、「マザーファンド」）の受益証券への投資割合には制限を設けません。 2. 株式等※への直接投資は、原則として行いません。 ※リート（不動産投資信託証券）やDR（預託証券）、その他の証券を含みます。以下同じ。 3. 一般社団法人投資信託協会規則に定める一者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則にしがたい当該比率以内となるよう調整を行います。 4. 新興国企業が発行する株式への実質投資割合は、原則として20%以内とします。 5. GICS（世界産業分類基準）のセクター分類による金融セクターに対する実質投資割合は、原則として30%以内とします。 6. 一銘柄あたりの実質投資割合が5%を超える銘柄に対する合計の実質投資割合は、原則として40%以内とします。 7. 実質キャッシュ比率は、原則として20%以内とします。 8. 投資信託証券（上場投資信託は除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 9. デリバティブ取引は、原則として行いません。
	1. 株式等への投資割合には制限を設けません。 2. 一般社団法人投資信託協会規則に定める一者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則にしがたい当該比率以内となるよう調整を行います。 3. 新興国企業が発行する株式への投資割合は、原則として20%以内とします。 4. GICS（世界産業分類基準）のセクター分類による金融セクターに対する投資割合は、原則として30%以内とします。 5. ポートフォリオでの投資割合が5%を超える銘柄に対する合計の投資割合は、原則として40%以内とします。 6. キャッシュ保有比率は、原則として20%以内とします。 7. 投資信託証券（上場投資信託は除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 8. デリバティブ取引は、原則として行いません。
分配方針	収益分配金額は、分配対象額の範囲（経費控除後の配当等収益および先実益（評価益を含む）等の全額）内で委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。但し、必ず分配を行うものではありません。

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。

アンカーMFGグローバル 株式ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)

運用報告書（全体版）

第4期（決算日 2024年4月1日）

受益者のみなさまへ

毎々格別のお引き立てにあずかり厚くお礼を申し上げます。

さて、「アンカーMFGグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」は、去る2024年4月1日に第4期の決算を行いましたので期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



運用報告書に関するお問い合わせ先
ノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社
業務部

〒106-0032 東京都港区六本木一丁目9-10
アークビルズ仙石山森タワー

電話番号：03-5575-5780

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

ホームページ：www.northerntrust.jp/

《アンカーMFGグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）》

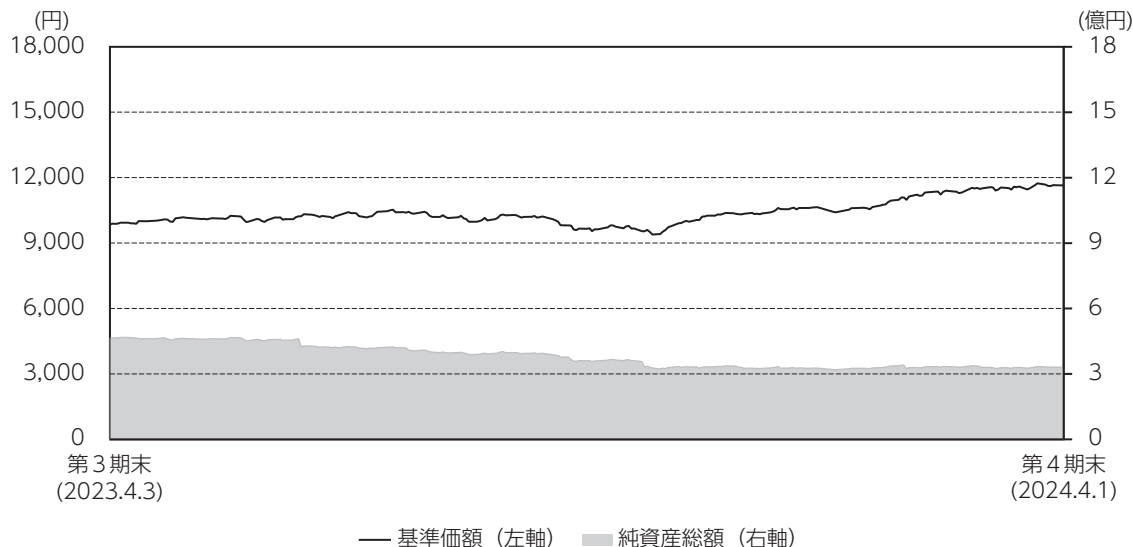
設定以来の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式 組入比率	投資証券 組入比率	純資産 総額	
	税込 分配金	期中 騰落率	参考 指数	期中 騰落率				
(設定日) (2020年8月3日)	円 10,000	円 -	% -	10,000	% -	% -	百万円 19	
1期 (2021年4月1日)	10,750	0	7.5	12,282	22.8	95.7	4.0	643
2期 (2022年4月1日)	10,866	0	1.1	13,688	3.3	93.1	3.7	574
3期 (2023年4月3日)	9,858	0	△ 9.3	12,711	△ 7.1	97.7	-	463
4期 (2024年4月1日)	11,644	0	18.1	15,896	25.1	98.0	-	330

(注) 参考指数としてMSCIコクサイ・インデックス（税引後配当込み、米ドルベース、2020年8月3日を10,000とする。）を使用しています。

《運用経過》

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

期首：9,858円
 期末：11,644円
 騰落率：+18.1%

■組入ファンドの当期間中の騰落率

組入ファンド	騰落率
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	43.5%

■基準価額の主な変動要因

為替ヘッジがマイナス寄与したものの、株式がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。株式では、情報技術、一般消費財・サービスでの保有銘柄の株価が大きく上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

為替ヘッジでは、米ドル他すべてのヘッジ対象通貨に対して円安他通貨高となりました。

年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数		株 式 組入比率	投資証券 組入比率
	円	騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2023年4月3日	9,858	% -	12,711	% -	% 97.7	% -
4月末	10,131	2.8	12,841	1.0	93.9	-
5月末	10,011	1.6	12,901	1.5	97.8	-
6月末	10,302	4.5	13,419	5.6	101.1	-
7月末	10,409	5.6	14,011	10.2	95.0	-
8月末	10,313	4.6	13,739	8.1	98.8	-
9月末	9,667	△ 1.9	13,101	3.1	98.6	-
10月末	9,527	△ 3.4	12,667	△ 0.3	91.2	-
11月末	10,319	4.7	13,881	9.2	93.6	-
12月末	10,645	8.0	14,662	15.4	92.5	-
2024年1月末	11,092	12.5	14,936	17.5	95.6	-
2月末	11,485	16.5	15,334	20.6	97.3	-
3月末	11,653	18.2	15,896	25.1	97.9	-
(期 末) 2024年4月1日	11,644	18.1	15,896	25.1	98.0	-

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について

○世界株式市況

当期の先進国株式市場は、期首と比べて上昇しました。期初から7月末にかけては、米国での銀行不安を巡る懸念などから下落する局面もあったものの、好調な米経済指標や米国企業決算などを背景に米景気後退懸念が和らいだことで、概ね上昇基調で推移しました。10月末にかけては、F R B（米連邦準備制度理事会）による金融引き締めが長期化するとの観測から米長期金利が上昇したことや、中国経済や中東情勢の先行き不透明感が意識されたことなどから、下落しました。その後期末にかけては、F R Bの利上げ終了観測を受け、米長期金利が大きく低下したことや、米大型ハイテク株や半導体大手エヌビディアの決算が好感されたことなどから上昇相場が続き、期を通じては、先進国株式市場は大幅に上昇しました。

○為替相場

当期の米ドル円相場は、期首と比べて円安米ドル高となりました。米経済の底堅さを示す経済指標やF R B高官のタカ派発言を受けて、期初は円売り・米ドル買いが進みました。その後は日銀による金融政策の修正を巡り、円高米ドル安となる局面もあったものの、米長期金利が上昇し日米金利差の拡大が意識されたことなどから、期央にかけても米ドルは円に対し上昇基調で推移しました。11月以降、F R Bによる利上げ局面が終了したとの見方が強まると円高に動く場面も見られたものの、堅調な米経済指標や米企業業績、F R Bによる早期利下げ観測の後退などから、米ドルは買われる展開となりました。

前期における「今後の運用方針」

「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」の受益証券への投資を行います。また、実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ります。

ポートフォリオについて

○当ファンド

「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」の受益証券への投資を行いました。また、実質組入外貨建資産について、一部の通貨を除き外貨売り／日本円買いの為替ヘッジを行いました。

○アンカーMFGグローバル株式マザーファンド

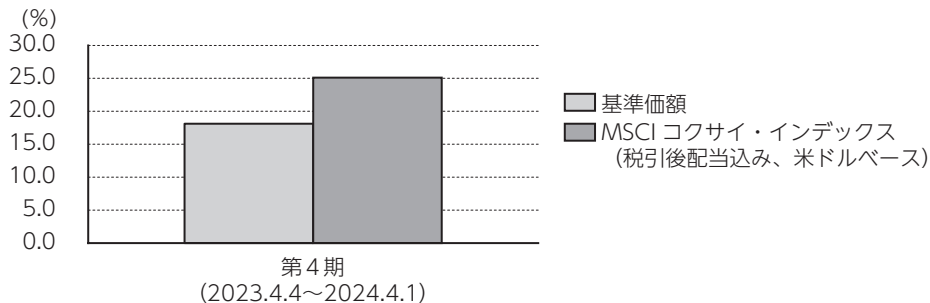
ポートフォリオ全体でのリスク管理を徹底しつつ、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。

期初から期央にかけては、インフレ鈍化を受けてF R Bの利上げが終盤に近く、長期金利の上昇が株価に逆風になる可能性は低いとの予想から、インフレ耐性を持つ銘柄のポジションを縮小する一方、成長期待の高い銘柄を積み増しました。期の後半は、米経済指標や企業業績が想定以上に底堅いことから、米経済はソフトランディングするとの見通しのもと、企業の成長力に着目した銘柄選定を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。参考指数は先進国株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当期は、運用財産の成長を目指すファンドの基本方針に鑑みて、配当を行うのではなく再投資に振り向けることにより信託財産の一層の成長を目指すこととし、収益分配を見送らせて頂きました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2023年4月4日	2024年4月1日
当期分配金（税込）（円）		0
対基準価額比率（％）		－
当期の収益（円）		－
当期の収益以外（円）		－
翌期繰越分配対象額（円）		1,643

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込）の期末基準価額（分配金込）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」の受益証券への投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。また、実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ります。

○アンカーMFGグローバル株式マザーファンド

米国経済は底堅さを保ち、保有銘柄の先行き見通しもおおむね良好とみています。一方、株式市場では米国の利下げに焦点が集まっており、利下げ時期を巡る思惑の変化が、株式市場の変動性を高める可能性を警戒しています。そのため、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を基に良好な業績が期待できる高感応度銘柄の比率を高位に維持しつつも、利下げ等を巡る不確実性にも留意し、低感応度銘柄やキャッシュを活用することで、ポートフォリオの分散も図っていく方針です。銘柄選定にあたっては、引き続き世界のメガトレンド（中長期的な構造変化）に着目し、その恩恵を受けて高い利益成長の持続が見込まれる銘柄を厳選する方針です。

1万円当りの費用の明細

項 目	第4期		項 目 の 概 要
	(2023.4.4~2024.4.1)		
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	86円	0.823%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,462円です。
(投信会社)	(82)	(0.784)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(0)	(0.001)	販売会社分は、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(4)	(0.038)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 募集手数料	－	－	
(c) 売買委託手数料	2	0.015	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(2)	(0.015)	
(d) 有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(e) その他費用	24	0.228	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(3)	(0.024)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(21)	(0.204)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	
合 計	112	1.066	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万円当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況

(2023年4月4日から2024年4月1日まで)

親投資信託受益証券

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	-	-	163,364	274,282

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2023年4月4日から2024年4月1日まで)

項 目	当 期
	アンカーMFGグローバル株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	28,224,552千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	26,823,823千円
(c) 売買高比率 (a)÷(b)	1.05

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(2024年4月1日現在)

	期首(前期末)		当 期 末	
	□ 数	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千口	千円
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	324,808	161,444	342,601	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2024年4月1日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	342,601	99.7
コール・ローン等、その他	924	0.3
投資信託財産総額	343,525	100.0

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、4月1日における邦貨換算レートは、1米ドル=151.43円、1カナダドル=112.00円、1スイスフラン=167.92円、1香港ドル=19.35円、1ユーロ=163.42円です。

(注3) アンカーMFGグローバル株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(30,519,998千円)の投資信託財産総額(30,835,238千円)に対する比率は99.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年4月1日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	665,833,205円
コール・ローン等	10,038
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド(評価額)	342,601,867
未収入金	323,221,300
(B) 負債	335,556,819
未払金	333,333,188
未払解約金	799,999
未払信託報酬	653,632
その他未払費用	770,000
(C) 純資産総額(A-B)	330,276,386
元本	283,652,418
次期繰越損益金	46,623,968
(D) 受益権総口数	283,652,418口
1万口当り基準価額(C/D)	11,644円

* 期首における元本額469,993,310円、当期中における追加設定元本額0円、同解約額186,340,892円

* 当期末の計算口数当りの純資産総額は1.1644円です。

■損益の状況

当期(自2023年4月4日 至2024年4月1日)

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	54,547,004円
売買益	150,884,901
売買損	△ 96,337,897
(B) 信託報酬等	△ 3,884,450
(C) 当期損益金(A+B)	50,662,554
(D) 前期繰越損益金	△ 13,416,169
(E) 追加信託差損益金	9,377,583
(配当等相当額)	(970,632)
(売買損益相当額)	(8,406,951)
(F) 合計(C+D+E)	46,623,968
次期繰越損益金(F)	46,623,968
追加信託差損益金	9,377,583
(配当等相当額)	(970,632)
(売買損益相当額)	(8,406,951)
分配準備積立金	37,246,385

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 分配金の計算過程

計算期間末に、費用控除後の配当等収益額3,410,377円(1万口当り120.23円)、有価証券売買等損益17,765,686円(1万口当り626.32円)、収益調整金額9,377,583円(1万口当り330.60円)及び、分配準備積立金16,070,322円(1万口当り566.55円)から分配対象収益額は46,623,968円(1万口当り1,643円)となりますが、分配を行いませんでした。

<補足情報>

当ファンド（アンカーMFGグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用））が投資対象としている「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」の決算日（2023年7月3日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2024年4月1日）現在におけるアンカーMFGグローバル株式マザーファンドの組入資産の内容を掲載いたしました。

■組入資産明細表

下記は、2024年4月1日現在におけるアンカーMFGグローバル株式マザーファンド（14,407,364千口）の内容です。

（2024年4月1日現在）

外国株式

銘柄	前期末		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額	外貨建金額 邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
AMAZON.COM INC	686	795	14,350	21,173,122	一般消費・サービス(小)・小
APPLE INC	420	346	5,933	898,569	777/ソフトウェア(小)・小
YUM! BRANDS INC	661	478	6,638	1,005,193	消費者サービス
COLGATE-PALMOLIVE CO	-	791	7,124	1,078,819	家庭用品・パーソナル用品
REPUBLIC SERVICES INC	-	234	4,480	678,418	商業・専門サービス
INTUIT INC	211	122	7,965	1,206,155	ソフトウェア・サービス
LOWES COS INC	366	181	4,631	701,309	一般消費・サービス(小)・小
MCDONALDS CORP	277	98	2,785	421,833	消費者サービス
MICROSOFT CORP	384	351	14,805	2,241,941	ソフトウェア・サービス
XCEL ENERGY INC	589	-	-	-	公益事業
PEPSICO INC	183	-	-	-	食品・飲料・タバコ
US BANCORP	1,236	-	-	-	銀行
STRYKER CORP	-	184	6,599	999,413	ヘルスクア機器・サービス
NETFLIX INC	-	106	6,454	977,435	メディア・娯楽
UNITEDHEALTH GRP INC	144	173	8,569	1,297,707	ヘルスクア機器・サービス
CHIPOTLE MEXICAN GRILL INC	46	29	8,676	1,313,913	消費者サービス
MASTERCARD INC - A	244	167	8,060	1,220,604	金融サービス
VISA INC-CLASS A SHARES	456	271	7,575	1,147,134	金融サービス
HCA HEALTHCARE INC	220	182	6,092	922,651	ヘルスクア機器・サービス
META PLATFORMS INC-CLASS A	-	142	6,930	1,049,439	メディア・娯楽
INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN	854	700	9,629	1,458,145	金融サービス
TRANE TECHNOLOGIES PLC	238	245	7,365	1,115,298	資本財
EVERSOURCE ENERGY	415	-	-	-	公益事業
ALPHABET INC-CL A	282	223	3,375	511,090	メディア・娯楽
ALPHABET INC-CL C	729	137	2,088	316,223	メディア・娯楽
WEC ENERGY GRP INC	434	251	2,064	312,552	公益事業
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	9,087 21銘柄	6,216 22銘柄	152,195 23,046,975	23,046,975 <75.4%>
(ドイツ)	百株	百株	千ユーロ	千円	
SAP SE	714	545	9,838	1,607,748	ソフトウェア・サービス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	714 1銘柄	545 1銘柄	9,838 1,607,748	1,607,748 <5.3%>
(オランダ)	百株	百株	千ユーロ	千円	
ASML HLDG NV	142	86	7,718	1,261,344	半導体・半導体製造装置
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	142 1銘柄	86 1銘柄	7,718 1,261,344	1,261,344 <4.1%>

銘柄	前期末		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額	外貨建金額 邦貨換算金額	
(フランス)	百株	百株	千ユーロ	千円	
L OREAL	97	38	1,685	275,482	家庭用品・パーソナル用品
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	88	39	3,303	539,795	耐久消費財・アパレル
SAFRAN SA	221	-	-	-	資本財
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	407 3銘柄	78 2銘柄	4,988 2,254	815,278 <2.7%>
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,264 5銘柄	709 4銘柄	22,545 -	3,684,371 <12.1%>
(カナダ)	百株	百株	千カナダドル	千円	
BROOKFIELD CORP	1,946	1,461	8,284	927,904	金融サービス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,946 1銘柄	1,461 1銘柄	8,284 -	927,904 <3.0%>
(スイス)	百株	百株	千スイスフラン	千円	
NOVARTIS AG-REG	615	-	-	-	薬品・化学/医薬・バイオ/化学
NESTLE SA-REG	670	511	4,894	821,940	食品・飲料・タバコ
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,285 2銘柄	511 1銘柄	4,894 -	821,940 <2.7%>
(香港)	百株	百株	千香港ドル	千円	
AIA GRP LTD	4,073	4,076	21,419	414,466	保険
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	4,073 1銘柄	4,076 1銘柄	21,419 -	414,466 <1.4%>
(イギリス)	百株	百株	千英ポンド	千円	
DIAGEO PLC	1,789	-	-	-	食品・飲料・タバコ
RECKITT BENCKISER GROUP PLC	977	-	-	-	家庭用品・パーソナル用品
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,766 2銘柄	- -	- -	- <-%>
合 計	株数・金額 銘柄数<比率>	20,424 32銘柄	12,975 29銘柄	28,895,657 -	28,895,657 <94.5%>

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買取場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) < >は純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注3) 単位未満は切捨て。

(注4) 業種はGICS分類（産業グループ）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	海外の金融商品取引所に上場している企業の株式等※ ※リート（不動産投資信託証券）やDR（預託証券）、その他の証券を含みます。
運用方法	1. 徹底したリサーチを通じて選別した持続的な優位性を持つ高クオリティ企業の株式等に中長期に投資することで、一つの経済サイクルを通して年率10%以上のリターン獲得を目指します。 2. ポートフォリオの市場感応度を一定程度以下に調節することで値下りリスクの抑制に努めます。 3. ポートフォリオの構築にあたっては、確信度の高い銘柄に対する集中投資を行います。投資銘柄数は、原則として20銘柄以上、40銘柄以下とします。 4. 投資対象とする株式等は、取得時において、原則として時価総額250億米ドル以上の銘柄とします。ただし、原則として原油や天然資源などの商品市況に影響される銘柄は除きます。 5. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 6. 資金動向、市場動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。 7. マゼラン・アセット・マネジメント・リミテッドに外貨建資産の運用の指図に関する権限を委託します。
組入制限	1. 株式等への投資割合には制限を設けません。 2. 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行います。 3. 新興国企業が発行する株式への投資割合は、原則として20%以内とします。 4. GICS（世界産業分類基準）のセクター分類による金融セクターに対する投資割合は、原則として30%以内とします。 5. ポートフォリオでの投資割合が5%を超える銘柄に対する合計の投資割合は、原則として40%以内とします。 6. キャッシュ保有比率は、原則として20%以内とします。 7. 投資信託証券（上場投資信託は除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 8. デリバティブ取引は、原則として行いません。

アンカーMFGグローバル 株式マザーファンド

運用報告書

第5期（決算日 2023年7月3日）

受益者のみなさまへ

毎々格別のお引き立てにあずかり厚くお礼を申し上げます。

さて、「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」は、去る2023年7月3日に第5期の決算を行いましたので期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



運用報告書に関するお問い合わせ先
ノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社
業務部

〒106-0032 東京都港区六本木一丁目9-10
アークヒルズ仙石山森タワー

電話番号：03-5575-5780

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

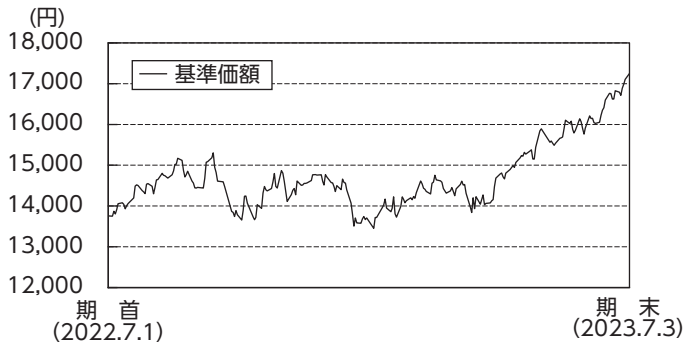
ホームページ：www.northerntrust.jp/

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式組入比率	投資証券組入比率	純資産総額
	円	期中騰落率		期中騰落率			
(設定日) (2019年4月18日)	10,000	—	10,000	—	—	—	百万円 746
1期 (2019年7月1日)	10,166	1.7	9,805	△1.9	88.7	3.1	5,709
2期 (2020年7月1日)	10,959	7.8	10,069	2.7	77.1	3.8	13,833
3期 (2021年7月1日)	13,728	25.3	14,507	44.1	90.4	3.5	46,328
4期 (2022年7月1日)	13,757	0.2	15,286	5.4	88.2	2.7	36,841
5期 (2023年7月3日)	17,252	25.4	19,254	26.0	92.9	—	30,236

(注) 参考指数としてMSCIコクサイ・インデックス (税引後配当込み、円ベース、2019年4月18日を10,000とする。) を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

■当期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	投資証券組入比率
	円	騰落率		騰落率		
(期首) 2022年7月1日	13,757	—	15,286	—	88.2	2.7
7月末	14,551	5.8	16,124	5.5	89.0	2.8
8月末	14,445	5.0	16,236	6.2	91.3	2.3
9月末	13,786	0.2	15,421	0.9	93.4	2.1
10月末	14,867	8.1	16,918	10.7	94.6	0.8
11月末	14,515	5.5	16,426	7.5	94.5	—
12月末	13,708	△ 0.4	15,409	0.8	91.1	—
2023年1月末	14,155	2.9	15,999	4.7	93.3	—
2月末	14,454	5.1	16,543	8.2	95.0	—
3月末	14,683	6.7	16,456	7.7	93.9	—
4月末	15,442	12.2	16,896	10.5	94.0	—
5月末	15,902	15.6	17,689	15.7	94.0	—
6月末	17,104	24.3	19,086	24.9	92.5	—
(期末) 2023年7月3日	17,252	25.4	19,254	26.0	92.9	—

(注) 騰落率は期首比。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：13,757円 期末：17,252円 騰落率：+25.4%

【基準価額の主な変動要因】

株式および為替がともにプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。株式では、一般消費財・サービス、情報技術での保有銘柄の株価が大きく上昇しました。為替は、米ドルほかの組入通貨に対して円安となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○世界株式市況

当期の先進国株式市場は、期首と比べて上昇しました。期初は、FRB（米連邦準備制度理事会）による利上げペースが鈍化するとの期待が強まったことなどから上昇しました。しかしその後10月にかけては、パウエルFRB議長が積極的な利上げ姿勢を示したことなどから投資家心理が悪化し、下落する展開となりました。期央から期末にかけては、FRBによる利上げや米国の銀行不安を巡り一進一退となる局面も見られましたが、良好な米経済指標や企業業績を支えに、概ね上昇基調で推移しました。

前述のような市場動向となるなか、一般消費財・サービスセクターでは、チボトレ・メキシカン・グリルは、メニュー価格の値上げなどが奏功し、市場予想を上回る売上高の伸びとなったことなどから、株価が上昇しました。反対に、金融セクターでは、USバンコープは、米中堅銀行のシリコンバレー銀行破綻による米国の銀行不安の高まりなどから、株価が下落しました。

○為替相場

当期の米ドル円相場は、期首と比べて円安米ドル高となりました。予想を上回る米CPIの上昇やパウエルFRB議長の発言を受け、米国の積極的な利上げ観測が強まったことから、期の序盤には円売り・米ドル買いが急速に進みました。その後期央にかけては、FRBによる利上げペース減速期待が広がったことや日銀が金融政策決定会合で長期金利の許容変動幅の上限を引き上げたことを受けて、米ドルは円に対して下落しました。しかし期末にかけて、米経済の底堅さを示す経済指標やFRB高官のタカ派発言を受けて、米ドルが買い戻される展開となりました。

◆前期における「今後の運用方針」

中央銀行による金融引き締め策が奏功してインフレは緩やかにピークアウトし、経済はソフトランディングに成功するという見方をメキシコナリオとしています。一方、さらなるインフレ高進を背景とする中央銀行による金融引き締めの積極化や、エネルギー供給の混乱などによる経済成長やインフレ見通しの悪化、及び、中央銀行が金融政策の機動的な調整に失敗するリスクなどを想定しています。こうしたリスク要因による不確実性が株式市場のバリュエーションの重石となると考えられるため、今後2年程度の株式市場の期待リターンに対しては慎重な見通しを持っています。そのため、引き続き一定程度キャッシュ比率を高めたポートフォリオ運用を行う方針です。その一方で株式部分の構築に関しては、世界のメガトレンド（中長期的な構造変化）に着目し、その恩恵を受けて高い利益成長の持続が見込まれる銘柄への厳選投資を継続し、市場上昇への追従を図る方針です。

◆ポートフォリオについて

ポートフォリオ全体でのリスク管理を徹底しつつ、エコノミック・モート（持続可能な競争優位性）を持ち、長期的な成長が見込まれる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。期初から期中盤にかけては、インフレ懸念や長期金利の急上昇を背景に、株式市場の不確実性や変動性が高まったことから、「価格決定力」を有する銘柄の組入を重視した運営を実施しました。期の後半は、インフレ鈍化を受けてFRBの利上げが終盤に近く、長期金利の上昇が株価に逆風になる可能性は低いとの予想から、インフレ耐性を持つ銘柄のポジションを縮小する一方、成長期待の高い銘柄を積み増しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。参考指数は先進国株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

基準価額と参考指数の騰落率は、それぞれ+25.4%、+26.0%となりました。

《今後の運用方針》

米国のインフレは沈静化の兆しを見せており、中央銀行の姿勢によっては一時的に市場の変動性が高まる可能性は残るものの、金利上昇を主因とした株価の調整は一巡したと考えています。したがって、株式市場では金融引き締めが実体経済および企業収益に与える影響が重視されるとみえています。当ファンドでは持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、景気の悪化局面においても利益を創出できる銘柄を保有しているため、こうした環境下での底堅いパフォーマンスを見込んでいます。特に、3月の米シリコンバレー銀行の経営破綻の影響については、当ファンドは財務健全性の高い銘柄で構成されており、金融不安の高まる局面においては相対的に優位性を発揮するものと見込んでます。加えて、保有するキャッシュを活用し、ファンダメンタルズから乖離して株価が下落した企業に投資することで、中長期的に良好なパフォーマンスのご提供を目指します。銘柄選定にあたっては、引き続き世界のメガトレンド（中長期的な構造変化）に着目し、その恩恵を受けて高い利益成長の持続が見込まれる銘柄を厳選する方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項目	当期
(a) 売買委託手数料 (株式) (投資証券)	3円 (3) (0)
(b) 有価証券取引税	—
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	3 (3) (0)
合計	6

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数

(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数

(注2) 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

■ 売買及び取引の状況

(2022年7月2日から2023年7月3日まで)

(1) 株式

	買		付		売		付		
	株	数	金	額	株	数	金	額	
アメリカ	百株	3,491	千米ドル	64,054	百株	8,756	千米ドル	117,396	
		(1,310)		(-)		(-)		(-)	
カナダ	百株	2,387	千カナダドル	13,461	百株	1,124	千カナダドル	5,150	
		(2,396)		(11,143)		(1,917)		(11,143)	
スイス	百株	30	千スイスフラン	331	百株	1,246	千スイスフラン	11,137	
イギリス	百株	139	千英ポンド	536	百株	48,806	千英ポンド	11,030	
香港	百株	5,151	千香港ドル	44,244	百株	1,247	千香港ドル	10,203	
ユーロ	百株	69	千ユーロ	364	百株	858	千ユーロ	4,974	
	ドイツ	百株	242	千ユーロ	2,638	百株	409	千ユーロ	4,309
	フランス	百株	98	千ユーロ	5,717	百株	343	千ユーロ	9,027
	オランダ	百株	34	千ユーロ	1,808	百株	89	千ユーロ	5,128
	ユーロ 通貨計	百株	446	千ユーロ	10,528	百株	1,701	千ユーロ	23,440

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

(2) 投資証券

	買		付		売		付	
	口	数	金	額	口	数	金	額
アメリカ		千口		千米ドル		千口		千米ドル
		—		—		43		6,086

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2022年7月2日から2023年7月3日まで)

項 目	当 期	
	アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	36,459,949千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	30,172,745千円	
(c) 売買高比率 (a)÷(b)	1.20	

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

(2022年7月2日から2023年7月3日まで)

(1) 株式

当 期				期 付					
買		付		売		付			
銘	柄	株 数	金 額	平均単価	銘	柄	株 数	金 額	平均単価
		千株	千円	円			千株	千円	円
INTUIT INC		25	1,552,765	60,885	MICROSOFT CORP		49	1,693,301	34,062
APPLE INC		60	1,303,651	21,677	ALPHABET INC-CL C		92	1,453,864	15,724
BROOKFIELD ASSET MANAGE-CL A		199	1,238,134	6,197	VISA INC-CLASS A SHARES		47	1,379,964	29,282
UNITEDHEALTH GRP INC		16	1,146,985	67,692	MASTERCARD INC - A		24	1,170,727	47,528
AMAZON.COM INC		66	1,042,938	15,781	NOVARTIS AG-REG		89	1,056,410	11,844
AIA GRP LTD		515	744,941	1,446	PROCTER AND GAMBLE CO/THE		52	1,033,308	19,610
TRANE TECHNOLOGIES PLC		28	715,438	24,757	MCDONALDS CORP		25	935,888	36,924
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI		6	634,682	99,636	YUM! BRANDS INC		52	883,076	16,966
NETFLIX INC		8	528,546	62,922	META PLATFORMS INC-CLASS A		39	847,652	21,417
LOWES COS INC		14	418,568	28,024	US BANCORP		167	829,088	4,952

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(2) 投資証券

当 期					期 付				
買		付			売		付		
銘	柄	口 数	金 額	平均単価	銘	柄	口 数	金 額	平均単価
		千口	千円	円			千口	千円	円
-		-	-	-	CROWN CASTLE INC		43	868,981	19,896

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(2023年7月3日現在)

■組入資産の明細

(1) 外国株式

銘柄	前期末		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
AMAZON.COM INC	568	888	11,579	1,673,332	一般消費・サービス・小売
APPLE INC	-	442	8,584	1,240,522	テクノロジー・ハードウェア
YUM! BRANDS INC	1,037	593	8,226	1,188,858	消費者サービス
INTUIT INC	-	180	8,287	1,197,661	ソフトウェア・サービス
LOWES COS INC	429	395	8,933	1,290,970	一般消費・サービス・小売
MCDONALDS CORP	490	237	7,072	1,022,020	消費者サービス
MICROSOFT CORP	819	368	12,540	1,812,211	ソフトウェア・サービス
XCEL ENERGY INC	578	-	-	-	公益事業
PEPSICO INC	271	155	2,884	416,775	食品・飲料・タバコ
PROCTER AND GAMBLE CO/THE	526	-	-	-	家庭用品・パーソナル用品
US BANCORP	1,674	-	-	-	銀行
NETFLIX INC	-	82	3,652	527,892	メディア・娯楽
UNITEDHEALTH GRP INC	-	131	6,337	915,794	ヘルスケア/医療・サービス
CHIPOTLE MEXICAN GRILL INC	50	37	7,937	1,147,095	消費者サービス
MASTERCARD INC - A	438	208	8,195	1,184,287	金融サービス
VISA INC-CLASS A SHARES	830	359	8,532	1,232,985	金融サービス
HCA HEALTHCARE INC	333	187	5,692	822,561	ヘルスケア/医療・サービス
META PLATFORMS INC-CLASS A	351	-	-	-	メディア・娯楽
INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN	1,114	729	8,248	1,191,959	金融サービス
TRANE TECHNOLOGIES PLC	-	258	4,953	715,766	資本財
EVERSOURCE ENERGY	463	354	2,516	363,673	公益事業
ALPHABET INC-CL A	17	238	2,848	411,706	メディア・娯楽
ALPHABET INC-CL C	51	287	3,474	502,117	メディア・娯楽
WEC ENERGY GRP INC	448	404	3,571	516,170	公益事業
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	10,496 19銘柄	6,542 20銘柄	134,069 19,374,362	<64.1%>
(フランス)	百株	百株	千ユーロ	千円	
L OREAL	83	46	1,985	312,789	家庭用品・パーソナル用品
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	59	81	7,004	1,103,357	耐久消費財・アパレル
SAFRAN SA	379	149	2,146	338,130	資本財
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	522 3銘柄	277 3銘柄	11,136 1,754,276	<5.8%>
(ドイツ)	百株	百株	千ユーロ	千円	
SAP SE	793	626	7,836	1,234,407	ソフトウェア・サービス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	793 1銘柄	626 1銘柄	7,836 1,234,407	<4.1%>
(オランダ)	百株	百株	千ユーロ	千円	
ASML HLDG NV	170	115	7,688	1,211,113	半導体・半導体製造装置
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	170 1銘柄	115 1銘柄	7,688 1,211,113	<4.0%>
(スペイン)	百株	百株	千ユーロ	千円	
AMADEUS IT GRP SA	788	-	-	-	消費者サービス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	788 1銘柄	- -	- -	<-%>
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,274 6銘柄	1,019 5銘柄	26,660 4,199,798	<13.9%>

銘柄	前期末		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(スイス)	百株	百株	千スイフラン	千円	
NOVARTIS AG-REG	1,370	478	4,303	694,388	医薬/化学/バイオ/ファーマ
NESTLE SA-REG	842	518	5,577	899,997	食品・飲料・タバコ
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,212 2銘柄	996 2銘柄	9,880 1,594,385	<5.3%>
(イギリス)	百株	百株	千英ポンド	千円	
DIAGEO PLC	2,247	1,232	4,165	763,982	食品・飲料・タバコ
LLOYDS BANKING GROUP PLC	46,870	-	-	-	銀行
RECKITT BENCKISER GROUP PLC	1,462	681	4,026	738,457	家庭用品・パーソナル用品
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	50,580 3銘柄	1,913 2銘柄	8,192 1,502,440	<5.0%>
(カナダ)	百株	百株	千カナダドル	千円	
BROOKFIELD CORP	-	1,742	7,772	847,254	金融サービス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	- 1銘柄	1,742 1銘柄	7,772 847,254	<2.8%>
(香港)	百株	百株	千香港ドル	千円	
AIA GRP LTD	-	3,903	30,879	569,420	保険
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	- 1銘柄	3,903 1銘柄	30,879 569,420	<1.9%>
合 計	株数・金額 銘柄数<比率>	65,564 30銘柄	16,118 31銘柄	- 28,087,661	<92.9%>

- (注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。
- (注2) < >は純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。
- (注3) 単位未満は切捨て。
- (注4) 業種はG I C S分類（産業グループ）によるものです。なお、G I C Sに関する知的財産所有権はS & PおよびMSCI Inc.に帰属します。

(2) 投資証券

銘柄	前期末		当 期 末		業 種 等
	口 数	口 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	千口	千口	千米ドル	千円	
CROWN CASTEL INC	43	-	-	-	ソフトウェア/投資信託(ETF)
合 計	金 額 銘柄数<比率>	43 1銘柄	- -	- -	<-%>

- (注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。
- (注2) < >は純資産総額に対する各国別投資信託受益証券、投資証券評価額の比率。
- (注3) 単位未満は切捨て。
- (注4) 業種はG I C S分類（産業グループ）によるものです。なお、G I C Sに関する知的財産所有権はS & PおよびMSCI Inc.に帰属します。

■投資信託財産の構成

(2023年7月3日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	28,087,661	92.6
コール・ローン等、その他	2,259,188	7.4
投資信託財産総額	30,346,849	100.0

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、7月3日における邦貨換算レートは、1米ドル=144.51円、1カナダドル=109.01円、1スイスフラン=161.37円、1英ポンド=183.40円、1香港ドル=18.44円、1ユーロ=157.53円です。

(注3) 当期末における外貨建資産(30,286,755千円)の投資信託財産総額(30,346,849千円)に対する比率は、99.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年7月3日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	30,470,717,596円
コール・ローン等	2,145,427,335
株式(評価額)	28,087,661,271
未収入金	234,638,498
未収配当金	2,990,492
(B) 負債	233,988,730
未払金	126,988,730
未払解約金	107,000,000
(C) 純資産総額(A-B)	30,236,728,866
元本	17,526,930,652
次期繰越損益金	12,709,798,214
(D) 受益権総口数	17,526,930,652口
1万口当り基準価額(C/D)	17,252円

* 期首における元本額26,779,955,040円、当期中における追加設定元本額102,258,703円、同解約額9,355,283,091円

* 当期末における当マザーファンドを対象とする投資信託元本額は、アンカーMFGグローバル株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)15,456,389,663円、アンカーMFGグローバル株式ファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)268,933,415円、アンカーMFGグローバル株式ファンド(分配型)(適格機関投資家専用)1,801,607,574円

* 当期末の計算口数当りの純資産総額は1.7252円です。

■損益の状況

当期(自2022年7月2日 至2023年7月3日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	462,087,436円
受取配当金	442,289,192
受取利息	19,743,296
その他収益	54,948
(B) 有価証券売買損益	6,668,917,709
売買益	8,357,021,516
売買損	△ 1,688,103,807
(C) 信託報酬等	△ 7,025,476
(D) 当期損益金(A+B+C)	7,123,979,669
(E) 前期繰越損益金	10,061,391,946
(F) 追加信託差損益金	45,892,925
(G) 解約差損益金	△ 4,521,466,326
(H) 合計(D+E+F+G)	12,709,798,214
次期繰越損益金(H)	12,709,798,214

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。